

# 強迫症専門クリニックにおける診療実績 —原井クリニック1年間の診療実績2021年度— 原井クリニック, (株) 原井コンサルティング&トレーニング 原井 宏明・松浦 文香

## 目的

### 原井クリニックについて

2019年1月にOCD専門クリニックとして開院した。薬物療法(ほとんどがSSRI単剤)と曝露反応妨害法(ERP)を中心とした行動療法を行う。

### 3日間集団集中治療 3DI

短期間での治療を希望する者に対して、グループで3日間の持続的なERPを行う3日間集団集中治療(3 Days Intensive treatment: 3DI)を提供している。短期集団集中治療はOCDに対する治療として有効なもののひとつである(Ben-Arush, Wexler, and Zohar 2008)。短期間での治療を提供しているため、関東地方のみならず、遠方から来院して3DIに参加する患者も多い。

本研究は2019,2020年の報告に引き続き(金田ら 2020)(原井ら2021)、2021年度の外来患者情報について調査報告を行うものである。OCDの外来治療について検討することを目的とする。

## 結果

### 患者全体について

- 患者の平均年齢は31.6±13.8歳、9~75歳であった。468名のうち主診断がOCDである者は336名(71.8%)であった。患者の男女年齢別ヒストグラムを図1に示す。
- 初診(最終受診から6か月以上空いた再初診を除く)の患者は214名、そのうち主診断がOCDである者は137名(64.0%)であった。
- OCD以外で数の多いものの診断の変遷について表2に示す。
- 再初診は36名であり、そのうち主診断がOCDであるものは27名であった(75.0%)。
- 家族相談が21例、セカンドオピニオン受診が22例あった。
- 心理士による個人カウンセリングは19例あった。

### 3DI参加者について

- 3DIに参加した者は49名であった。12~72歳(平均29歳)、男性28人、女性21人であった。コロナ禍に伴うまん延防止等重点措置のために2022年1月は3DIを行わなかった。
- 49名のうちSSRIを服用していたのは38名だった。
- 48名について治療前後のY-BOCSの評価を行った。治療前は平均27.8(SD4.2)、治療後は13.6(SD5.3)であった。
- Y-BOCSの減少率が25%未満の場合を不変、25%以上の場合を反応、35%以上の場合を軽快と定義した場合の処方の有無と年代別にした治療成績を表3に示す。全体の成績を図2に示す。

	2019	2020	2021
醜形恐怖症	1	7	13
抜毛症	0	10	1
社交不安症	14	8	14
パニック症	10	3	3
注意欠如多動症	20	21	26

表2 OCD以外の診断

	不変	反応	軽快	総計
SSRIなし				
10代			1	1
20代		1	3	4
30代			2	2
40代			2	2
SSRIあり				
10代	1		8	9
20代	1	1	10	12
30代	1		11	12
40代			3	3
50代以上		1	2	3
総計	3	3	42	48

表3 年代・薬使用別治療成績

## 対象と方法

### 対象

対象は2021年4月1日から2022年3月31日までの間に当院を受診した患者468名(男性215名, 女性253名)である。この期間の診療情報から年齢や性別、居住地域、主病名、治療内容を調べた。重症度についてはY-BOCSを使った。治療前後でY-BOCSの点数が35%以上減少した場合に軽快、25%以上の場合に反応、それ以下の場合には不変とした。

### 倫理的配慮

クリニックのプライバシーポリシーとして、医療の質・パフォーマンスの改善のための基礎資料として診療情報を用いること、その際には個人を識別あるいは特定できない状態に加工した状態で用いることをHP上にて明示し、受診時に同意を得ている。

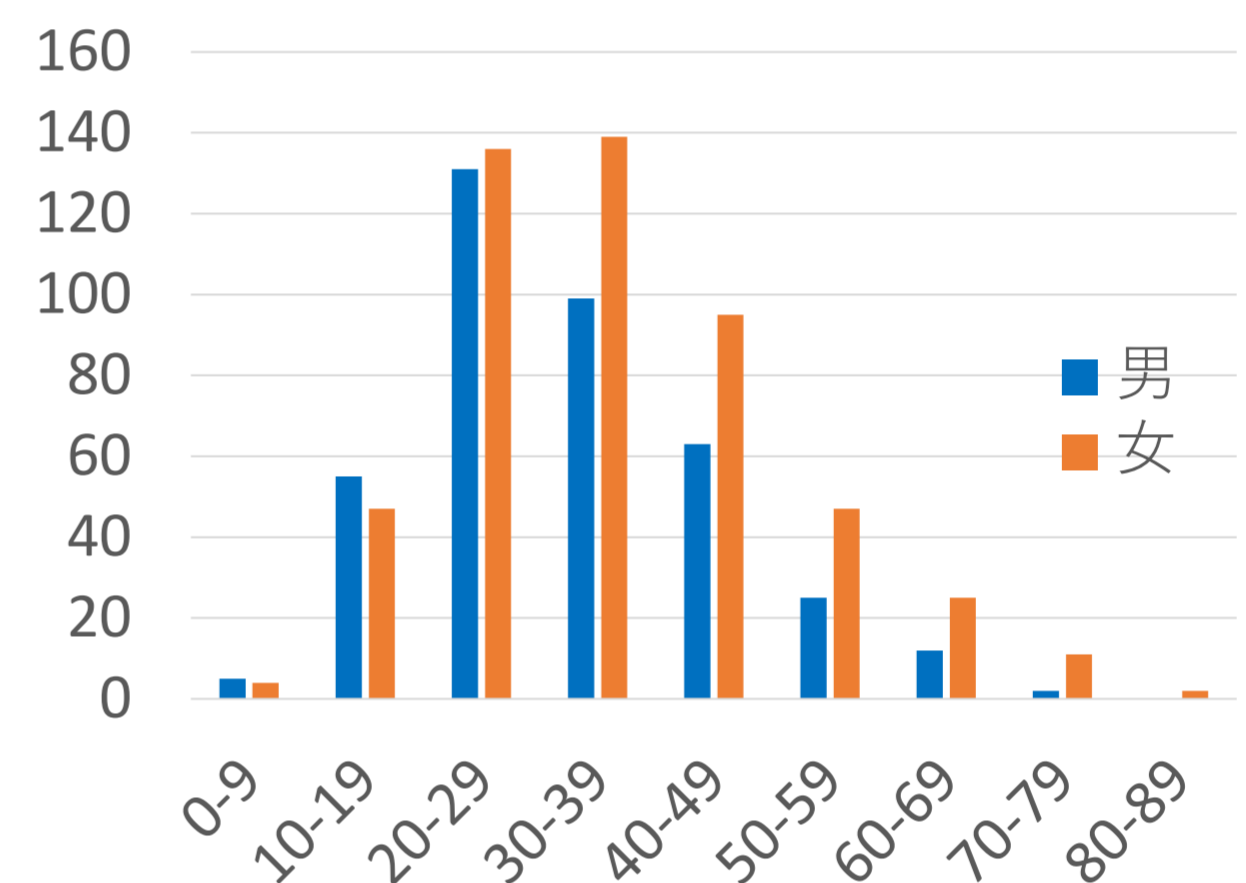


図1 男女年齢別患者数

	全体	初診・再初診
東北以北	12	4
関東	402	221
中部	42	21
近畿以南	12	4

表1 住所別患者数

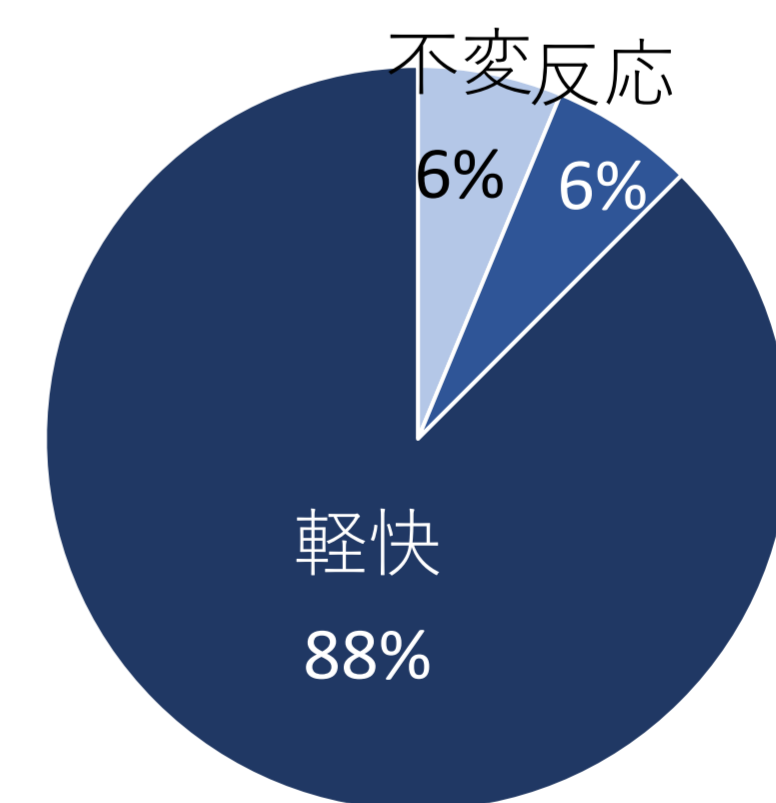


図2 全体治療成績

## 考察

本調査はOCD専門クリニックにおける診療実績について検討することを目的とした。過去2年の報告と比較すると次のような特徴がある。

- 初診患者数の減少 404→231名→250名  
関東地方以外からの患者数は84→26→29名、昨年度とほぼ同じである。
- 3日間集団集中治療参加者数 72→47→49名  
開催回数は12→10→11回だった。
- OCDの比率は大きな変化はない。醜形恐怖症の増加と抜毛症の減少が見られる。
- 3DIには患者の中でも重症のものが参加する傾向があった。
- 3DIに参加した患者の治療成績については、SSRIの使用の有無とは関係なく80%以上の患者において重症度が35%以上減少していた。

## 引用文献

- Ben-Arush, O., Wexler, J. B., & Zohar, J. (2008). Intensive Outpatient Treatment for Obsessive-Compulsive Spectrum Disorders. *Isr J Psychiatry Relat Sci*, 45(3), 193-200.
- 金田翔太郎, 四方陽裕, 原井宏明. (2020). 強迫症に対するERP専門クリニックにおける外来患者調査 原井クリニック1年間の診療実績. 日本認知・行動療法学会大会プログラム・抄録集, 46回, 185-186.
- 原井宏明, 松浦文香. (2021). 強迫症専門クリニックにおける診療実績 原井クリニック1年間の診療実績. 日本認知・行動療法学会大会プログラム・抄録集, 47回, 314-315.